

平成26年度第1回大阪府公立大学法人
大阪府立大学評価委員会 議事要旨

- 1 日 時 平成26年7月29日(火) 13時30分～16時30分
2 場 所 大阪赤十字会館401会議室
3 出席者 安部委員長、喜多委員、桑原委員(石原委員、兵庫委員は欠席)
4 議 事

(1) 平成25事業年度の業務実績の評価について

- 法人から平成25事業年度の業務実績について報告があり、その後委員による質疑応答、小項目評価についての審議が行われた。

<主な意見>

- ・「地(知)の拠点事業」(COC事業)について大阪地区で唯一の採択を受けたことは高く評価できる。
- ・年度計画どおりではあるが、文部科学省革新的イノベーション創出プログラムにおいてCOI-T(トライアル)「次世代水素エネルギー社会の実現」連携拠点として採択を受けたこと、中小企業の研究開発や経営力強化の支援に取り組む「ものづくりイノベーションセンター」の発足、国内唯一のホウ素薬剤の実証・評価イノベーション拠点である「BNCT研究センター」の整備は評価できる。
- ・国際交流推進体制の充実に向け、さらなる取組みの強化が求められる。
- ・国際化の項目について、数値目標を設定できる項目は設定を検討すべきではないか。
- ・大阪市立大学との連携事業等を多数実施したことは評価できる。
- ・教員数の配置について、平成26年度教員数670名程度を基本とする配置を目標としていたが、学士課程教育の再編で、平成24年度以降は学域(新カリキュラム)と学部(旧カリキュラム)の両方の教育課程が並存したことと、退職年齢の引き上げ(定年延長)により、目標を達成できなかった(平成26年度当初教員数686名)。引き続き退職者の不補充など教員の適正配置に向けた取組みに努めることが望まれる。
- ・戦略的広報の取組は努力が認められるので、継続を求める。

(2) その他

- 私学・大学課から大学統合スケジュール等について報告があった。

以上